

ジャカルタにて11月28日より開始 経済連携協定(EPA)に基づくインドネシア人の 看護師・介護福祉士候補者に対する現地日本語予備教育

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、経済連携協定(EPA)に基づき2014年に来日予定のインドネシア人及びフィリピン人看護師・介護福祉士候補者に対し、2013年11月から約6か月間、ジャカルタ及びマニラにおいて、日本語予備教育を実施します。

本研修では、候補者が来日後の日本での生活と国内研修に必要な日本語能力を身につけ、日本の社会文化に対する理解を深めます。

(なお、フィリピン人の看護師・介護福祉士候補者に対する現地日本語予備教育については、2013年11月19日よりすでに開始されています。)

■ インドネシア(第7期)

研修期間： 2013年11月28日～2014年5月28日
(開講式:2013年11月28日)

実施場所： インドネシア教育省語学教員研修所(ジャカルタ)

■ フィリピン(第6期) *開始済み

研修期間： 2013年11月19日～2014年5月27日

実施場所： フィリピン技術教育技能開発庁語学研修センター(マニラ)

日本では、2008年度からインドネシア人、2009年度からフィリピン人の看護師・介護福祉士候補者の受入れを行なっています。

候補者に対する日本語研修の期間は、2008年度の開始当初は、協定に定められた6か月間のみでしたが、病院や介護施設での就労・研修をよりスムーズに開始するため、2011年度に来日の候補者から、日本政府は現地での日本語予備教育を追加して行うこととなり、国際交流基金がその日本語予備教育事業を実施しています。



2013年11月19日にマニラで行われた、フィリピン人の看護師・介護福祉士候補者に対する現地日本語予備教育の開講式の様子

2013年度に来日した候補者から、インドネシア・フィリピンともに現地予備教育が6か月となり、訪日前・訪日後の合計12か月の日本語研修を受けるようになりました。

昨年、この研修を受けて今年来日した看護師・介護福祉士候補者たちは、この12月に訪日後研修を終えて、日本各地の病院・介護施設でそれぞれ仕事を始めます。

【お問い合わせ】日本語事業運営部 EPA研修チーム

担当:今井

電話:03-5369-6066 Email: nihongo@jpf.go.jp